

作成日：西暦 2026 年 7 月 17 日

2011 年 1 月以降に産業医科大学病院を受診されたがん患者さんおよびご家族へのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定 令和 3 年 6 月 30 日施行）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名

がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究

2. 研究期間

2013 年 8 月 2 日～2028 年 3 月 31 日

本学が提供を行う期間

本学学長の許可日～2028 年 3 月 31 日

3. 研究機関（提供を実施する機関）

産業医科大学

4. 提供責任者

産業医科大学病院 がんセンター センター長 青木 隆敏

5. 研究の目的と意義

この研究は、国立がん研究センター がん対策研究所医療政策部 部長 小西孝明を研究代表者とする多機関共同研究ですが、本学は情報の提供のみを行います。

平成 19 年にがん対策基本法が制定され、がん診療均てん化のための方策が多角的に打ち出されています。しかしながら、その対象である診療実態を継続的に検討するような体制は未整備です。原因の一つは、いろいろなデータが独立に集積され活用されていないためと考えられます。

[目的]

院内がん登録と DPC（Diagnosis-Procedure Combination と呼ばれる、診療データ）

の一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用法を検討することを目的とします。

[意義]

この研究を行うことで、全国規模でのがん診療の実態把握が可能となり、がん医療の質の向上、診療均てん化の推進、および今後のがん対策・医療政策の発展に寄与することが期待されます。

6. 研究の方法

当院でDPCデータから、氏名・診察券番号を削除して代わりに院内がん登録で個人情報削除の際に置き換えられた専用番号を付けたものを、国立がん研究センターに集積してデータベースを作ります。そのデータの一つの活用法として、診療ガイドラインで推奨されている一定の範囲の標準診療実施率を推測します。これらのデータからは、同一の機関以外で行われた診療行為や、標準診療を行わない診療上の理由などについては捕捉が出来ませんので、必要に応じて国立がん研究センターが当院に確認します。その上で、このデータを使った標準診療実施率算定が適切かどうかを検討したり、また、医療機関における治療方針を検討したり、また、国のがん政策への基礎資料を提供する、といったことが可能になります。

収集する情報：性別、診断名、診断年月、初回治療方針、ステージ、医療機関名、入退院年月日、診療明細

7. 個人情報の取り扱い

個人情報は、カルテの情報から、住所、氏名、生年月日を削り、代わりに新しく符号をつけ、提供責任者が管理し、個人情報の漏洩を防止します。この研究で得られたデータは、論文等の発表後10年間保管します。保管期間終了後、情報は復元できない方法で消去・廃棄することで、個人情報が外部に漏れないように対処します。この研究への参加の拒否は自由です。拒否された場合は、その時点までに得られたデータを、同様の措置で廃棄します。研究への参加を拒否される場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。この研究から対象外とさせていただきます。

8. 問い合わせ先

産業医科大学病院　がんセンター　がん登録管理室
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1　電話番号 093-603-1611（内線 8025）

9. その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。